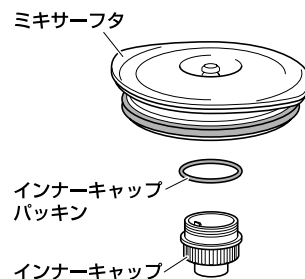


フタのお手入れのしかた

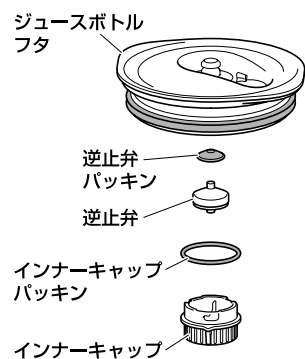
ミキサーフタ

- ①ミキサーフタからインナーキャップを外す。
- ②インナーキャップからインナーキャップパッキンを外す。
- ③ミキサーフタ、インナーキャップ、インナーキャップパッキンを水洗いする。
- ④各部品に水滴が残らないように十分に水分を拭き取る。
- ⑤インナーキャップにインナーキャップパッキンを取り付け、ミキサーフタに、カチッと音がするまでしっかりと回して取り付ける。
(取扱説明書 7ページ参照)



ジュースボトルフタ

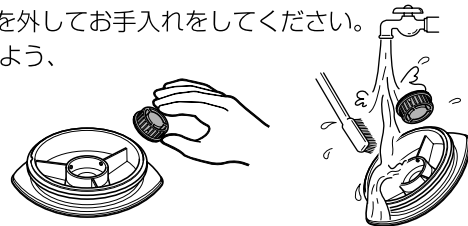
- ①ジュースボトルフタからインナーキャップを外す。
- ②インナーキャップからインナーキャップパッキンを外し、逆止弁、逆止弁パッキンを取り出す。
- ③各部品を水洗いする。
- ④各部品に水滴が残らないように十分に水分を拭き取る。
- ⑤ジュースボトルフタに、逆止弁、逆止弁パッキンを取り付ける。
- ⑥インナーキャップにインナーキャップパッキンを取り付け、ジュースボトルフタに、カチッと音がするまでしっかりと回して取り付ける。
(取扱説明書 8ページ参照)



お手入れ時の注意

1回使用すごとに、インナーキャップを外してお手入れをしてください。
お手入れ後は、各部品に水滴が残らないよう、十分に水分を拭き取ってください。

※インナーキャップをフタに付けたまま、水洗いはしないでください。
インナーキャップ内に水が浸入し、故障の原因になります。



！故障を防ぐために

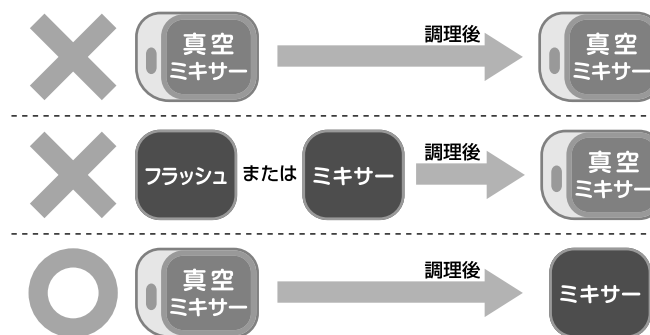
インナーキャップに液体や材料が浸入すると、本体内部に吸い込まれて故障の原因となります。以下の内容を、必ず守ってお使いください。

フタの取り扱い

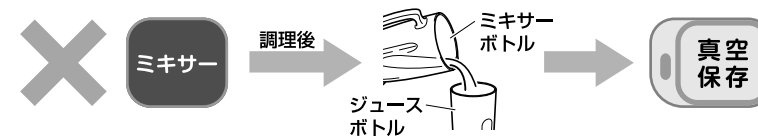
- 必ずインナーキャップを取り付けて使う。
- 1回使用すごとに、ミキサーフタ/ジュースボトルフタのお手入れをする。
(裏面参照)

真空機能

- 真空ミキサー機能は、**1回の調理に1度だけ** 使う。
ミキサー機能の後に、真空ミキサー機能を使わない。

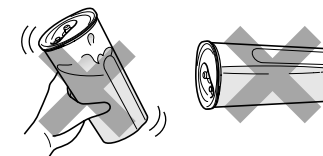


- 真空ミキサーで調理中、途中で材料を足さない。
- 真空保存するジュースは、必ず真空ミキサー機能で作る。
(ミキサー機能で作ったジュースを真空保存しない。)



真空保存時の注意

- ジュースボトルにジュースを入れるときは、ゆっくり注ぎ、泡立たないようにする。
- ジュースボトルを振らない。
ジュースボトルを横にして保存しない。



！故障を防ぐために

以下の内容を守らない場合、食材が本体に入り込み故障の原因となります。

容量について

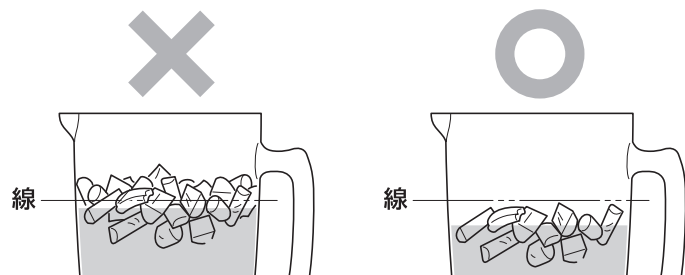
- 液体を含めた材料が、最大量を越えないようにする。
- 泡立ちやすい液体（豆乳・牛乳・乳飲料など）を使うときは、以下の用量を守る。

ミキサーボトル：液体は400mlの線まで。
すべての材料を加えたときに
600mlの線を越えないようにする。

ジュースボトル：「豆乳などで作ったもの」の線を
越えないようにする。

ミキサーボトルの量の見かた

ボトルを横から見て、材料が線を越えていたら入れ過ぎです。



ミキサーボトル

最大量

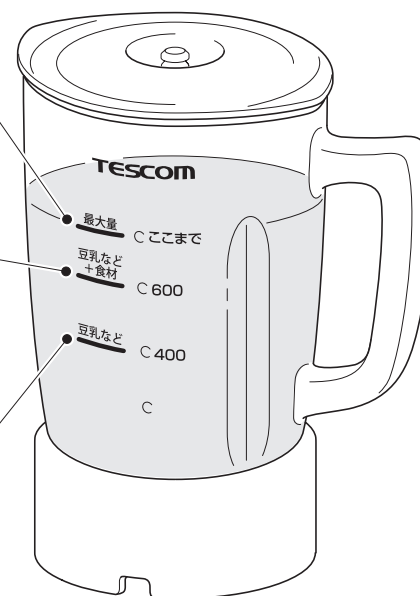
通常の調理のとき、材料がこの線を越えないようにしてください。

豆乳など+食材

豆乳・牛乳・乳飲料などを使うときは、材料がこの線を越えないようにしてください。

豆乳など

豆乳・牛乳・乳飲料などの液体は、この線までにしてください。



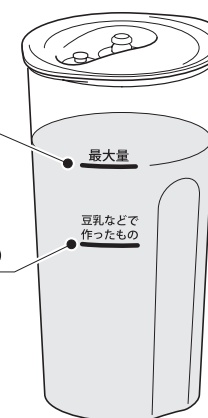
ジュースボトル

最大量

通常の調理のとき、材料がこの線を越えないようにしてください。

豆乳などで作ったもの

豆乳・牛乳・乳飲料などを使ったジュースの保存は、この線までにしてください。



材料について

- 粉末（ココアパウダー・プロテインなど）、粉末を水に溶いたものを入れない。
※粉末は空気と一緒に本体内部に吸い込まれ、故障の原因となります。
粉末を溶いたものを使うと、泡が立ちやすくなるため、泡が吸引されて故障の原因となります。
- 禁止食材を入れない。（取扱説明書 11ページ参照）
- 40℃以上の材料を各ボトルに入れない。